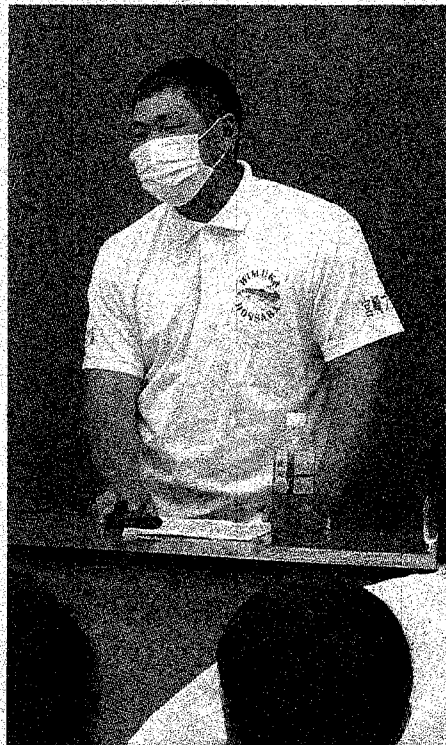


# 調べて、みっちり質問

## 延岡・旭中 1次産業者と懇談会



漁業班の質問に答える中西さん

（夕刊フリースタイル）  
2020.10.14

「漁業は後継者不足の  
状態。少しでも漁業の  
魅力を知ってもらえる  
ようPRできれば」と  
話した。

た。  
漁業班の濱田光志さ  
んは「魚の質を落とさ  
ないように育てている  
ことが分かった」。農業  
班の植野識さんは  
「作っている人の大変  
さが分かった」とそれ  
ぞれ話し、「今まで以上  
に感謝して食べたい」  
とお礼の言葉を述べ  
た。

学校に向いて授業  
を行うのは初めてだっ  
た中西さんは「楽し  
かった。子どもたちの  
発表もレベルが高く、  
ずっと聞いておきたい  
くらいだった」と感想  
を述べた。

「現場で行う授業だと  
子どもたちの反応が違  
う。できれば実際に体  
験ができるというなど  
思う」と、体験する必  
要性を強調した。

今回の質問懇談会で  
得た学びも踏まえ、今  
後は全体発表を行う予  
定だという。

かれて調べ学習を進  
め、この日は各自が調  
べたことをグループ内  
で発表した。

学習に取り組んだ。「農  
林水産業」のチームが、  
「若者にとって魅力的  
な延岡の水産業を構築  
するために必要なもの  
は何か？」という課題  
に「1次産業の体験学  
習を行うことが必要」  
と提案していた。

提案を受け、1年生  
は「第1次産業から再  
発見 延岡の魅力」と  
テーマを設定。当初は  
実際に体験学習を行う  
予定だったがコロナ禍  
で中止になり、代わり  
として6月に市内で水  
産業、農業に携わる4  
人から、ビデオメッセ  
ージを聞いた。

その後、養殖業、漁  
業、水産加工業、果物  
野菜の5グループに分  
かれて調べ学習を進  
め、この日は各自が調  
べたことをグループ内  
で発表した。

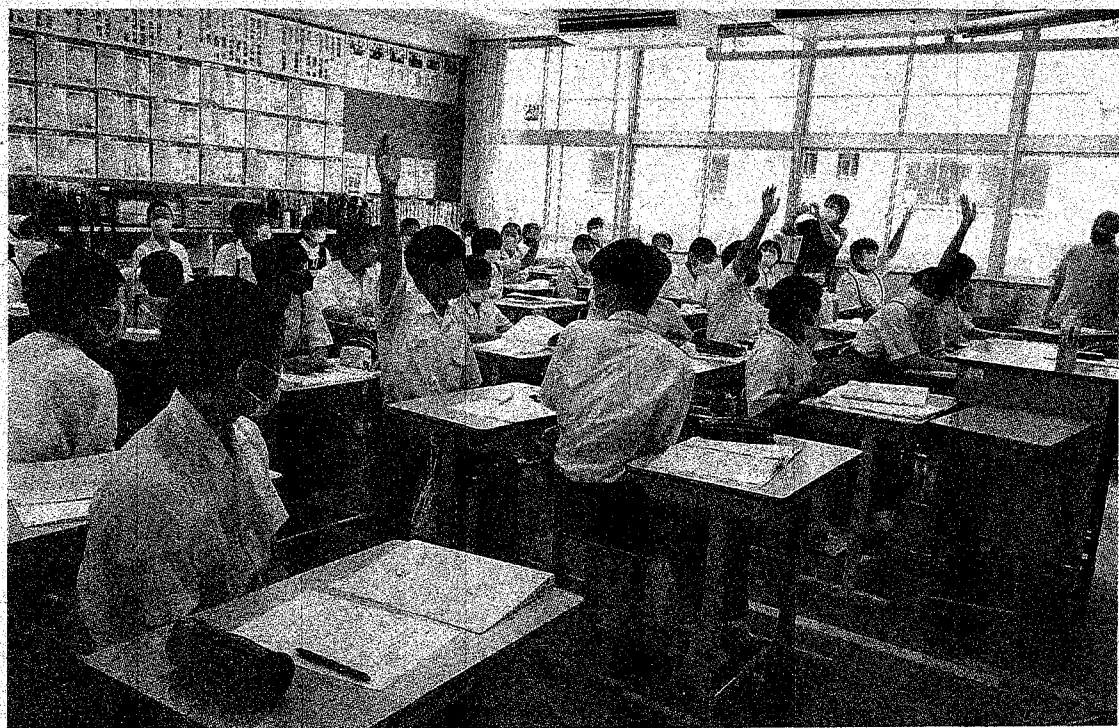
質問懇談会の講師と  
して訪れた、同市北浦  
町でブランド魚「ひむ  
か本サバ」を養殖する  
「カネノト」専務の中  
西彬裕さん、同市北方  
町で果樹園「田口ファ  
ミリーファーム」を営  
む田口正幸さんも発表  
に聞き入った。

その後、中西さんに  
話を聞く漁業、田口さ  
んに話を聞く農業の2  
班に分かれて、質問懇  
談会に入った。

生徒からは多くの手  
が挙がり「大変なこと  
」「工夫していること  
」や「災害時の対応」仕



農業班の質問に答える田口さん



調べたことを元に質問をしようとする多くの手が挙がった